

日本図書館情報学会会報

No. 182

2020年9月

日本図書館情報学会事務局
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学 金井喜一郎研究室
(事務局業務に関する問合せ先)
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会
E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2020年度会員集会および第68回研究大会開催のお知らせ

会長 岸田 和明

2020年度開催の第68回研究大会は、6月の春季研究集会と同様に、オンラインで開催いたします。併せて、会員集会をオンラインにて実施し、一方、シンポジウムにつきましては、今回は見送ることになりました。

5月や6月とはやや異なるようですが、新型コロナウイルス感染拡大については依然、予断を許さない状況にあります。このなかで、学会発表の機会を確保するには、オンライン開催にせざるを得ないと判断した次第です。春季研究集会の冒頭でも述べましたが、インフォーマルコミュニケーションの観点からは、オンライン開催にてわれわれの間に流れる情報は限定されたものにすぎません。それでも、口頭発表に限れば、個人的には、それなりの議論ができるとの感想をもちました。このような過酷な状況下で、われわれがなかば必然的に、オンラインでの会議に順応しつつあるのかもしれない。ぜひとも、ご参加いただき、図書館情報学の発展に力をお貸してください。

以上

2020年度定例（通信）総会の投票結果

有権者数 632（2020.6.1 現在）
 投票総数 193（内訳：郵送投票 5，電子投票 188）
 有効投票数 193
 有効投票率 30.54%（参考：2019 年度 50.74%）
 無効投票数 0

		賛	否	白票
第一号議案	2019 年度事業報告・事業監査報告	193	0	0
第二号議案	2019 年度決算報告・会計監査報告	193	0	0
第三号議案	2020 年度事業計画案	193	0	0
第四号議案	2020 年度予算案	192	1	0

日本図書館情報学会規約第 11 条第 1 項（正会員の 5 分の 1 以上：127）により総会は成立しました。第一号議案から第四号議案については、第 11 条 2 項（出席正会員の過半数：97）により、承認されました。よって、全議案は成立しました。

正会員から寄せられたご意見など（回答は常任理事会による）

定例（通信）総会のご意見欄に、正会員各位から下記のようなご意見等が寄せられました。ありがとうございます。今後の学会活動の参考とさせていただきます。

（常任理事会）

1. 二番目の監事のご意見に疑問が多々あります。監事がこうした場で自論を長々と述べることに意味があるのでしょうか。
 - ご存じの通り、監事は選挙にて選ばれ、会計監査を通じて学会運営の細部を把握されています。そのご意見は謹んで拝聴すべきであり、いただいた全文をそのまま掲載しました。その示唆をどう生かすかは今後の検討に委ねられます。
2. 第三号議案 2020 年度事業計画案の 1. 運営事業（11）でコロナ禍対策事業が提案されていますが、日本図書館情報学会会報 No.181（2020 年 6 月）p.19 では、2020 年 5 月理事会決定事項として案内が掲載されています。事業の緊急性は理解できますが、2020 年度の予算を伴う新規事業であることから、本事業は総会での議決後に執行すべきではないかと考えます。
 - 事務的な手続き等をも含めて検討した結果、不規則ではありますが、緊急案件としてご指摘のとおり処置させていただきました。今後、この種の措置の必要性が生じることのないよう切に願いますが、万一の場合には、ご意見を念頭に置きつつ進めてまいります。
3. 決算に「進捗率」が追加され、わかりやすくなりました。予算に前年度の決算額を併記されると変化が理解しやすいのですが、いかがでしょうか。
 - 次年度に向けて検討させていただきます。

【その他】

- 関東圏以外の図書館情報学関連の大学院の減少がたいへん気になります。学会でなんとかできるというものでもないのしょうけれど。
- 役員の皆さま、いつもありがとうございます。 ほか7件

第 68 回日本図書館情報学会研究大会ご案内

第 68 回研究大会を下記の要領で開催いたします。会員のみなさまにおかれましてはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトの参加申込フォームから、必ず所定の期日までにお申込み願います。

(研究委員会)

記

主 催：日本図書館情報学会

日 時：2020 年 10 月 3 日（土）、4 日（日）

開催方式：オンライン開催

参加費：会員 無料、非会員 1,000 円

参加締切：2020 年 9 月 30 日（水）

申込先：学会ウェブサイト (<http://jslis.jp/events/online-annual-conference/>) から、申し込みフォームにアクセスしてください。

備 考：

- (1) 研究大会への参加方法は、参加申込時にご登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。発表者も必ず参加申込を行ってください。
- (2) 発表者には 9 月下旬に開催予定の事前研修会に参加いただき、オンラインによる発表に備えていただくことになります。
- (3) 発表論文集は PDF ファイルで発行します。入手方法は、研究大会への参加方法と一緒にお知らせします。なお、発表論文集のみの希望者は、後日学会ウェブサイトに公開しますので参照ください。
- (4) 非会員の方の参加費支払方法は、研究大会への参加方法をお知らせするメール文に記しますので確認ください。

研究発表プログラム

第1日 10月3日(土)

Zoom 会議室	
9:45~ 9:55	開会式
10:00~10:30	◎鈴木一生(筑波大学大学院), 小泉公乃(筑波大学) 米国における特別目的政府による公共図書館経営の理論的基盤
10:30~11:00	◎松井健人(東京大学大学院) ヴァイマル期ドイツにおける閉架式図書館と図書館利用者研究の創始:W・ホーフマンの活動を 中心に
11:00~11:30	◎矢田竣太郎(奈良先端科学技術大学院大学), 浅石卓真(南山大学), 宮田玲(名古屋大学) 学校図書館による教材提供を支援する図書選定システムの提案とユーザインタフェースの予備 的評価
11:30~12:00	◎東山由依(昭和女子大学) 日本の学校図書館における学習活動の分析:私立女子中学校を事例として
12:00~13:00	休憩
13:00~13:30	◎山田翔平(東洋大学) 大学の属性と大学図書館の蔵書の関係の分析:経済学分野を対象として
13:30~14:00	◎下野幹弥(筑波大学大学院) 電子書籍の価格と需要の関係に関する国際比較
14:00~14:30	◎吉井潤(都留文科大学) 新型コロナウイルス感染症対策から捉えた公立図書館のトイレ環境に関する現状調査
14:30~15:00	休憩
15:00~15:30	伊藤民雄(実践女子大学) わが国における戦後 25 年間の図書館サービスの推移について:『図書館学文献目録』(私立大学 協会, 1971) を利用して
15:30~16:00	森山光良(東京大学大学院) 日本の広域行政の制度的枠組みへの公共図書館ネットワークの対応について:日仏米の比較制 度分析を通して
16:00~16:30	葉袋秀樹(元筑波大学) 図書館法の検討過程に関する座談会記録(1950年, 52年, 65年, 71年)の分析

第2日 10月4日(日)

	Zoom 会議室 1	Zoom 会議室 2
10:00~10:30	木村麻衣子(日本女子大学) 漢籍利用者へのインタビュー調査に基づく利用者タスクおよびエレメントの抽出	栗山正光(東京都立大学) レファレンス事例の陳腐化と追跡調査の有効性:「セレンディピティ」に関する調査を例にして
10:30~11:00	谷口祥一(慶應義塾大学) NCR2018とRDAの記述規則のRDFデータ化	福永智子(椋山女学園大学) レファレンス協同データベースに蓄積された読書相談質問の実際
11:00~11:30	雪嶋宏一(早稲田大学) 16世紀ケルンにおけるページ付け印刷の発展について	望月道浩(琉球大学), 金沢みどり(東洋英和女学院大学) 日本の公共図書館の子ども読書 Web ページの現状と課題
ポスター発表 (Zoom 各会議室)		
11:30~13:00 (昼食を含む)	<p>P-1: ●高橋今日子(鶴見大学大学院), 角田裕之(鶴見大学), 河西由美子(鶴見大学)/横浜市学校司書を対象とした探索的インタビュー調査分析</p> <p>P-2: ▲杉江典子(東洋大学)/レファレンス情報源の出版傾向に関する基礎データの分析:1990年から2019年までの変遷</p> <p>P-3: ◆鬼頭孝佳(名古屋大学大学院), 西田喜一(名古屋大学大学院)/「これからの図書館像」の成立過程から見る図書館政策の展開</p> <p>P-4: ●小山憲司(中央大学)/大学生による遠隔授業の評価と課題:図書館情報学教育科目におけるアンケート調査結果の分析</p> <p>P-5: ▲カレイラ松崎順子(東京経済大学)/日本における子ども英語図書館の設立の可能性を探る:釜山広域市立中央図書館別館釜山英語図書館の英語プログラムから</p> <p>以下の印の付いた時間帯には必ず自分の Zoom 会議室に待機し, 訪問者への説明の実施, 質問等への対応を行ってください。それ以外の時間帯は, 他の発表者の発表を聴くなどしても構いません。</p> <p>●: 11:30~12:00, ▲: 12:00~12:30, ◆: 12:30~13:00</p>	
昼 食		
	Zoom 会議室 1	Zoom 会議室 2
13:10~13:40	河村俊太郎(東京大学) 図書館との比較からみた場としてのアーカイブズ的位置づけ	池内淳(筑波大学) 公共図書館需要の移転に関する実証的分析
13:40~14:10	高橋今日子(鶴見大学大学院), 角田裕之(鶴見大学), 河西由美子(鶴見大学) 横浜市学校司書の業務に関する質問紙調査分析	松本直樹(慶應義塾大学) 公立図書館の指定管理者制度導入に対する地方議員の認識
14:10~14:40	根本彰 国際バカロレアにおける図書館の位置づけについての考察	山本順一(放送大学) インターネットアーカイブ訴訟の表層と深層:アメリカ著作権制度における権利者と大規模デジタル化組織との利害相克
14:40~15:00	休 憩	
15:00~16:00	会員集会・学会賞等授与式 (Zoom 会議室 1)	
16:00~16:10	閉会式 (Zoom 会議室 1)	

※氏名前の◎は優秀発表奨励賞授与候補者です。このプログラムは暫定版であり発表論文の提出をもって確定します。所属は教職員(常勤/非常勤)・院生・学部生等を問わず「機関名」「(大学名)」のみとしました。

役員会等の記録

2020年度第2回常任理事会（開催記録）

日時：2020年7月11日(土)13:00～17:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井，小泉

欠席者：なし

議事内容：

1. 2020年度定例（通信）総会投票結果の整理
2. 各委員会・特命事項に関する報告・協議
3. 今後の活動

『図書館情報学用語辞典』第5版の刊行について

『図書館情報学用語辞典』第5版編集委員会

このたび『図書館情報学用語辞典』第5版が刊行されました（定価：本体3,800円＋税）。第4版（丸善出版，2013）の収録語を見直し，現時点の最新情報にあわせて更新したものです。研究・教育・学習にあたり，ご活用いただければ幸いです。詳細は，丸善出版ウェブサイト（https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/?book_no=303887）をご覧ください。本学会会員は2冊以上ご購入いただくと1割引（送料サービス）となります。ご希望の方は，9月末に発送される『日本図書館情報学会誌』第66巻3号に同封予定の申込用紙に必要事項をご記入の上，FAXにて丸善出版までご返信ください。

『図書館情報学事典』（仮称）編集についての中間報告

『図書館情報学事典』（仮称）編集委員会委員長 根本彰

昨年度からスタートした『図書館情報学事典』（仮称）編集についての中間報告をいたします。

昨年度のうちに，すでに報告してある編集準備幹事会の会合を4回開催して，今年3月に編集体制および基本的な編集方針の考え方をまとめて，編集委員会の立ち上げを行いました。その際に編集委員会に編集幹事とそれ以外の編集委員，そして編集顧問を含めるものとし，編集幹事が基本的な部門の編成と項目選定を行い，そこに新たに編集委員を加えて編集作業を行うことにしました。また，委員会は必要に応じて編集顧問のアドバイスを受けます。

3月に発足した編集委員会の陣容ですが，編集準備幹事会のメンバー9人のうち，編集幹事に5人，編集顧問に3人が就任し，編集幹事にさらに2名（1名は新会長）を加えた7名体制で編集幹事会がスタートしました。編集委員長を根本彰，副委員長を倉田敬子，総務担当を三浦太郎が務めます。また，8月に新たに10人の編集委員を加えて，計20人の編集委員会体制で取り組む事になりました。その体制は次のとおりです。

<編集委員会の構成>

編集幹事：小田光宏，岸田和明，倉田敬子（副委員長），根本彰（委員長），三浦太郎（総務），吉田右子，渡邊隆弘

編集委員：安形麻理，河村俊太郎，栗山和子，小泉公乃，古賀崇，塩崎亮，瀬戸口誠，橋詰秋子，福井佑介，松林麻実子

編集顧問：上田修一，川崎良孝，田村俊作

編集事務担当：佐藤日登美（丸善出版株式会社企画・編集部）

8月に編集委員会をオンライン開催して，基本方針等を決定しました。「編集の基本方針」は次のとおりです。

- ・図書館情報学の最新の研究動向を中事典の項目としてコンパクトにまとめることにより，従来までの図書館情報学の範囲や準拠枠を示しつつ，新しい視野の下での図書館情報学像を提示できるものとする。
- ・図書館情報学が国内外ともに大きく変貌を遂げようとしているときにあつて，必ずしもこれまでの国内のこの領域の議論にとらわれることはなく，今後の在り方を展望できる内容とする。
- ・「読む事典」として，一般の読者にとっても興味をもてるようなわかりやすい記述にこころがける。
- ・原則的には2ページの中項目事典とし，必要に応じて4ページあるいは6ページの項目もつくる。
- ・図書館情報学の教員・研究者，図書館関係者，図書館情報学の学習者，司書課程の学習者を基本的読者とするが，隣接分野の研究者，一般の読者も意識した書き方にする。
- ・日本図書館情報学会が編集した出版物としての一貫性を保つため，原則として『図書館情報学用語辞典 第5版』（丸善出版，2020）の用語の定義や表記法を参照する。ただし，編集委員会が最終の調整を行う。

現在，部門編成と立項作業をほぼ終えようとしています。現在の部門編成と章立て（カッコ内）は次のとおりです。それぞれの部門が3から5章立てで約30項目を含めることが予定されています。全部で約300項目になります。

第1部門 図書館情報学（1 基礎的概念，2 システム，3 図書館情報学と関連分野）

第2部門 資料とメディア（1 総説，歴史，2 図書，出版物，3 ニュース，4 デジタルメディア）

第3部門 情報・知識の組織化（1 総説，2 目録法，3 主題組織法，4 書誌コントロール，5 メタデータ）

第4部門 情報検索（1 理論と技術，2 実際，3 応用）

第5部門 情報行動（1 情報探索（行動），2 メディアの利用，3 読書，4 リテラシー）

第6部門 学術コミュニケーション（1 学術コミュニケーション，2 学術雑誌，3 オープンアクセス，オープンサイエンス，研究データ，4 研究者の行動，実践）

第7部門 専門情報（1 総論，2 形態による専門情報，3 主題による専門情報，4 発生源による専門情報）

第8部門 情報の制度・情報システム（1 情報をとりまく環境，2 出版制度，3 知的自由）

第9部門 図書館（1 図書館政策と運営，2 人びとへの図書館サービス，3 教育と図書館サービス，4 さまざまな図書館，5 図書館に関わる人びと）

第10部門 図書館情報機関（1世界の図書館，2図書館の歴史，3図書館の関わる機関・団体，
4物語としての図書館）

このあとは、10月以降に、担当編集委員より会員各位に向けて執筆依頼をすることになっていま
す。この事典が用語辞典を引き継ぐだけでなく、今後の図書館情報学の展望を示す性格をもつもので
あることをご理解いただき、協力いただけるようお願い申し上げます。

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際
しては「投稿規程」，「執筆要綱」，『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご
参照ください。

（編集委員会）

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会（journal@jslis.jp）
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2018年7月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/09/c_reg_180708.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2020年3月20日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2020/03/JSLIS_review_rule200320.pdf

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』のPDF版データを提供いたします。ご希望の方
は、事務局（office@jslis.jp）までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方
にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

（編集委員会）

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電
子メール（somu@jslis.jp）にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDFの添付ではなくメー
ル本文に掲載内容を記してお送りください。

（総務委員会）

2020年度の会費納入のお願い

2020年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお
願いいたします。

なお、2019年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2018年度までの会費を未納の場
合は、2019年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生
会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から
会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で2020年4月から所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ U-PARL 編『図書館がつなぐアジアの知：分類法から考える』東京大学出版会, 2020
- ・ 川村敬一 著, 主題文献精読会 編集『主題検索の現状理解と今後の方向性について：1957年のドーキング会議に参加した分類学者たちが指示したこと』樹村房, 2020
- ・ 久野和子 著『「第三の場」としての学校図書館：多様な「学び」「文化」「つながり」の共創』松籟社, 2020
- ・ 情報科学技術協会 監修, 原田智子 編著, 吉井隆明, 森美由紀 著『検索スキルをみがく：検索技術者検定3級公式テキスト』第2版, 樹村房, 2020
- ・ 日本図書館研究会 編『情報資源組織法』日本図書館研究会, 2020
- ・ 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会 編『図書館情報学用語辞典』第5版, 丸善出版, 2020

- ・ 水沼友宏 著『公立図書館における指定管理者制度：導入館と非導入館が提供するサービスの比較』
樹村房, 2020

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）